

# 都学歯困 広報

## 目次

●インタビュー① 役員人物探訪	2
川本 強会長・鈴木 博専務理事	3
●地区学校歯科医学会会長からのメッセージ	4
板橋区学校歯科医学会・練馬区学校歯科医学会	5
●新役員就任この1年	6
平成22年度江東七地区学校歯科医学会	7
役員連絡協議会	8
●トピックス 第1回参事会／第65回評議員会・総会	9
●地区ニュース 麻布赤坂・芝合同	10
●こんなことが「学校歯科医執務記録」になります	10
●学校歯科医執務記録	11
●平成23年度 ブロック別学校歯科医研修会日程	12
●平成23年度 各種大会・研修会日程	12

TOGAKUSHI KOHO



社団法人 東京都歯科医師会  
平成22年度募集ポスター  
江戸川区立鹿骨東小学校4年 鈴木 萌さん



社団法人 東京都学校歯科医会  
〒102 東京都千代田区九段北4-1-20  
-0073 TEL.03-3261-1675  
<http://www.tasd.or.jp>  
E-mail [tasd@tasd.or.jp](mailto:tasd@tasd.or.jp)  
発行人/鈴木 博  
印刷/一世印刷株式会社

本会ホームページもご覧下さい

<http://www.tasd.or.jp/>

学校保健統計、各種大会・研修会の最新情報や  
歯科講話で役立つ都学歯発行物（会員ページから  
ダウンロードできます）など情報満載です。

執務記録も会員ページからダウンロードするこ  
とができます。

101

2011. 6

今回から、役員の人柄などを会員の皆様に知っていただくために、役員インタビューを行なってみました。まずは、会長と専務理事からです。

(聞き手：広報委員 清水浩一)

## 川本 強会長



### 1. ご出身地はどちらでしょうか？

京都です。小さい頃大徳寺の境内の中で遊んだのを覚えております。

### 2. 子どもの頃はどんなお子さんでしたか？

姉曰く、小さいときはボーッとして精神遅滞でもあるのかと思ったそうです。小学校に上がる頃にはかなり活発になっておりました。

### 3. 子どもの頃なりたかったものはありますか？

医療関係かダム建設現場の技術者です。

### 4. 自分の性格はどのように思われますか？

明るいはうではないかと思って居ります。

### 5. ご家族の構成はどのようになっていますか？

花が好きな家内と消化器外科をやっている息子と嫁、そして女の子と男の子の孫2人です。

### 6. ご趣味は何かありますか？

都学歯へ参りますまでは、ゴルフが趣味でした、まずまずのハンディまでは行ったのですが、今はほとんどゴルフはやっておりません。主に時代小説の読書と散歩です。

### 7. ストレス発散のためにすることはありますか？

やはりお酒でしょうか。忌憚無くお話ができる友人や理事の方々と語らって飲むときは安らぎを覚えます。しかし、ご一緒して頂く方々には迷惑なことで後になって反省しております。

### 8. 座右の銘がありましたらお教え下さい？

特にはございませんが、時の流れに逆らって物事を成就させるのは、平常時と違って、大変な労力と関係者の方々に多大のご迷惑をおかけする事になります。そのようなことから、慌てず機が熟すのを待って、といつも自戒しております。従って特に挙げれば、薪の上に寝て熊の肝を嘗めながらも、いつか機が熟すのを待ってという意味の「臥薪嘗胆」(がしんしょうたん)でしょうか。

### 9. 歯科医師になってうれしかったこと辛かったことはありますか？

うれしかったことは、卒業して暫く口腔外科に在籍したお陰でしょう、小児が6歯を含む上顎骨骨体骨折で来院、それを通院で治したこと。年配の女性が家族に付き添われて診療室に入られた瞬間に脳内出血を疑い、転送して救命されたことでしょうか。辛かったことは全くありません。

### 10. 学校歯科医はいつから、どのような学校を担当されておりましたか？

30年少々前に葛飾区内の中学校から始まりました。今は小学校と保育園を担当しております。

### 11. 学校歯科医をやっているうれしかったこと、楽しかったことはありますか？

うれしかったことは、区長表彰・知事表彰・文科大臣表彰等身にあまる賞を頂戴したことです。楽しかったこと、現在も楽しませて頂いていることなのですが小学校にTBIや摂食指導に行っただけで子ども達と半分以上遊びながら口腔保健教育が出来ることでしょうか。大学の衛生学の先生方から見ると、私の口腔保健教育・指導はさぞかし問題の多いことでしょうか……。

### 12. 都学歯の当面の課題は何でしょうか？

法人改革問題です。法人改革問題に伴う定款改正、そしていつどのような体制で変革するのか、皆さんと智恵を出し合って執行して参りたいと思っております。

### 13. 都学歯の会長としてこれだけはやっておきたいということはあるでしょうか？

摂食の調査・研究ですが、特に「味覚」です。味覚に関して都学歯独自の調査・研究をぜひやってみたいと思っております。

## 鈴木 博 専務理事



### 1. ご出身地は？

本籍は東京ですが、3歳まで父が信州大学に勤めていたので長野県で育ちました。父方は大家族でしたので、親戚と従兄弟が集まるだけで大変な数になります。祖父も自宅開業の歯科医でしたが県議をしていた関係で来訪者も多く賑やかでした。その後、父が今の開業地（板橋区）に歯科医院開設の準備をするため母方の実家に身を寄せたのですが、実は、母の実家（やはり自宅開業の歯科医）は住み込みのスタッフも含めてさらに大家族でした。

### 2. 子どもの頃はどのようなお子さんでしたか？

今も変わりませんが、争いを好まず、何事にも深く関わらないスタンスで過ごしていたつもりなのですが……。

### 3. 子どもの頃何になりたかったですか？

何かクリエイティブな職業、例えば作家や画家などに憧れました。でも気持ちが平和を求めるので書くドラマが平易で、絵はどうしても隣にいる人（家内）方が上手なのであきらめました。

### 4. ご自分の性格はどのように思われますか？

あまり自分のことは悪く言いたくはありませんが、外面（そとづら）だけは良いお調子者で、かつ、大変な怠け者です。もう私の周りの誰もがご存じだと思います。

### 5. 御家族は何人でどのような構成ですか？

未だに一人前と認めてもらえない妻と社会人の子ども2人です。妻は働いて家計を助けてくれています。私が頼りなさ過ぎたのか、子どもは別の道を選びました。

### 6. ご趣味はなんですか？

物事に凝る方ではないので無いと思っているのですが、テレビを見ていると集中してしまい（耳が悪いのだと思っていますが）会話が成り立たなくなることから、家族からは「趣味はテレビでないの？」と言われていました。

### 7. 座右の銘はありますか？

「淡き水の交わり」今考えました。でも、私のスタンスには、人にも物にもほどほどという距離感があります。

### 8. 学生時代に何か思い出に残っていることはありますか？

大学には自治会があり、最初は騙されて取りこまれたのですがずっと関わっていました。私がいざという時に相談するのはきっとこの時の友人だと思います。

大学祭も実行委員として楽しみましたし、全国の歯科大学のつながりを作ろうとして学生運動を警戒した大学に睨まれたこともありましたね。

### 9. 歯科医師になってうれしかったこと、つらかったことなどあれば教えてください。

うれしかったのは、やはり天職かなあと思える職業につけたこと。親には感謝しています。つらかったことはまだ無いですね。そろそろ来るかと思えます。

### 10. 学校歯科医はいつごろから、どのような学校を担当されましたか？

実は学校歯科医になってまだ8年です。父を手伝ったり、兄を手伝って学校には行く機会を与てもらいましたが、矯正専門医である私ではお役に立てることも少なからうと考えておりました。

当初任用して頂いた小学校は生徒の総数150名で、手あつい体制で児童のサポートが出来る学校でした。今の学校は区のスポーツエリートが集まる中学校で、人数は今も増え続ける人気校です。スポーツだけでなく合唱や吹奏楽にも力を入れており、とにかくアクティブです。全く異なる環境に戸惑いながらも楽しく担当させて頂いています。

### 11. 今後の都学歯の会務全般についてお聞きします。

事業としましては今年度も基礎研修会を開催していく予定です。学術は今まで主に集団への対応について検討されていましたが、今年度は個への対応について検討していきたいと考えております。その他、大きな課題としましては新法人制度への対応についてですね。

両先生、お忙しいところありがとうございます。

# 地区学校歯科医会会長からのメッセージ

## 板橋区学校歯科医会

会長 早川 龍



### 板橋区の概要

板橋区は、東京の西北端にあり埼玉県に隣接しています。人口は約54万人で都内の4.1%，その年齢構成比率は、おおむね中学生までの14歳以下は11%，65歳以上は20%です。

区内の幹線鉄道および幹線道路は2路線あります。池袋から伸びる東武東上線は川越街道と平行しております。また巣鴨方面から高島平まで都営地下鉄三田線が走り、その途中まで中山道が併走いたします。

高島平は広大な水田を集合住宅と戸建て用の住宅用地に転用したところで、昭和47年（1972年）に公営住宅の入居が開始、集合住宅の人口は平成4年（1992年）2万5千人でピークとなりました。その後平成22年には1万9千人と大幅に減少しました。この地区は、戦後の住宅難を解消するために国策として作られ、集合住宅においては核家族化の象徴的な住宅でした。そのためこの住宅は親子の二世帯が居住する間取りになっており、二世帯目が独立すると次世代者が退去せざるを得なくなるのが現実でした。そして現在集合住宅の高齢化率は、30%を越えました。前述のごとく区の平均高齢化率が20%であることを考えるとこの地区の高齢化率はかなり高く、またさらに数年後には高齢化率が50%を越えるともいわれており、行政を挙げて再生プロジェクトが進行しているところ です。

### 校医の配置と学校の現状

板橋区学校歯科医会の会員数は、82人です。会員の配置は区立小学校53人、区立中学校23人、区立幼稚園2園1人、都立高等学校が5人（特別自立支援学校1人を含む）です。当地区も小子高齢化による学校の統廃合があります。前述の高島平地区につきましては、小学校が7校から5校に統廃合されました。

またここ数年における児童、生徒数の動向は、区の東側に当たる比較的都心部に近いところにおいて学級数が少なくなり、西側は集合住宅の増加等により学級数も増加傾向が見られます。そのため高島平地区を除くと、学校の統廃合についても区内東側にその傾向が見られます。

### 年間事業について

本会が行っている事業には、区内養護教諭、歯科衛生士、学校歯科医を対象にした学術講演会、歯科医師会と共同で行う図画ポスターコンクール、区民向けポスター展、区民祭りなどがあります。これら事業は、児童生徒および区民の生活の質の向上を目的に啓発活動の一環として行っております。またさらに幼児、児童、生徒を対象に「歯と口の健康教室」を開催しております。

### 歯と口の健康教室

板橋区内の区立小学校全53校の4年生、区立幼稚園2園および小、中学校の特別支援学級では、「歯と口の健康教室」という事業を行っております。この事業は、板橋区学校歯科医会が区から委託を受け、区の歯科衛生士と担当校医、学校歯科医会役員により行っている、歯と口に対する啓発活動の大切な一つと位置づけております。

歴史は、昭和33年虫歯撲滅巡回指導という形に始まり、その後一時期までは株式会社ライオンに所属する歯科衛生士の協力を頂いておりました。そして平成21年より本事業は、全校実施という事業に発展いたしました。

実際に小学校では、授業時間の1枠、約45分をいただき、講話、歯垢染色、歯磨き指導、質疑という順序で行っております。講話はもちろんですが、特に歯垢染色については子どもたちも大変興味を示し、教室内がにぎやかになるシーンもあります。また、学校の先生方もその様子を写真に収められたりします。

板橋区学校歯科医会では、これらの事業をさらに充実、発展させるべく努力を続ける所存です。

## 練馬区学校歯科医会

会長 佐藤 貞彦



### 練学歯温故知新

練学歯の現況を報告するに当たり、その生い立ちからを繙きながら述べてみたいと思います。それはただ単に過去を振り返るだけでなく、その中から新しい価値や意義を再発見して、現在に生かすということに繋がると思うからです。

昭和22年（1947）年8月1日、練馬区が板橋区からの分離独立に伴って練馬区歯科医師会が設立されました。その頃の学校歯科医は歯科医師会の役員が兼ねていて、学校歯科は歯科医師会の公衆衛生の部会のような形だったと言われているようですが、定かではありません。昭和30（1955）年、練馬区歯科医師会から完全に独立した練馬区学校歯科医会として第1回定時総会が開催されるまでには何かと曲折があったようです。昭和30年4月から練学歯としての諸事業が始まりました。当時の「う蝕対策」として練馬区長を本部長に、練学歯会長を副本部長とする「練馬区虫歯半減運動推進本部」が設置され、以来50数年経た現在も、運動の形は変わりながらも続けられてきています。

- 因に現在の「むし歯半減運動」の事業計画は、
- (1)区立小中学校児童生徒の歯科保健に関する生活指導及び講話。
  - (2)う蝕活動性試験、歯垢染色テストの実施協力。
  - (3)小中学校長と学校歯科医との合同研修会。
  - (4)練馬区学校保健会に対する協力。
  - (5)学校歯科医の各種学校保健会・研修会・研究会等への派遣。

となっています。これは正に現在の練学歯の学校歯科保健事業をまとめた形で網羅しています。昭和37年から始められた小中学校長との研修懇談会は、人口増加に伴い新規開校が相次ぎ昭和48年か

らは小学校、中学校別々に日を換えて開催されています。既に50年も続けられてきているので、研修テーマ選びに苦勞することもあります。学校長との相互理解を深めるためにも、担当校の学校歯科医は余程の事情以外は必ず出席となっています。学校巡回指導も昭和37年に始まり、全校生徒を一堂に集めて行う方法から、昭和61年からはライオン歯科衛生研究所スタッフの協力を戴き、学年単位の少人数で、きめ細かな方法へと担当学校歯科医と共に毎年15校を対象に行っています。

昭和51年からは歯垢染色テストが希望校で実施され、昨年度は58校7,793名でした。因に「う蝕活動性試験」は25校2,235名で、年々希望校が増え、その成果を上げています。

昭和57年に第1回練馬区学校保健大会が開催され、練学歯学術委員（5名）による研究「よい歯のしおり」（学級指導用）を発表しました。爾来、昨年で29回となっていますが最近では24回大会「生活習慣からみた歯・口の健康づくり」、27回大会「スポーツ外傷としてのマウスガード使用に関する調査」など11回の研究発表を行っています。昨年から医科、歯科、薬剤師、養教、給食栄養、体育主任など八つの部会毎の研究発表となったので八年に1回の発表となりました。毎年全国的に各種大会が開催されています。練学歯はそれらに積極的に参加出席しており、昨年は七大会に延べ120名が参加出席しています。

区教育委員会とも積極的に交流を図り、教育長はじめ学校保健幹部との研修懇談会を定期的に開催しています。練学歯は昭和53年に東京都教育委員会から、平成元年に文部大臣（当時）から団体表彰を受けています。その時の功績調書によりますと、同会（練学歯）は、日本学校歯科医会、東京都学校歯科医会の役員を数多く輩出しており、全国の学校歯科保健活動の原動力として多大な貢献をしている。とあります。以て肝に銘じ、伝統がややもすればマンネリにおちいることなく、常に活性化を図らなければならないでしょう。

# 新役員就任この一年

## 理事 ● 橋本 健一

昨年4月に理事をおおせつかり、主に公益法人制度改革に関する事項を担当しています。

本会では、第62回評議員会において「新制度による公益社団法人または一般社団法人への移行について」という協議題で、本会としてはどちらの法人に移行するのが望ましいのか検討いただき、第63回評議員会の第3号議案として「新制度による公益社団法人への移行」を上程し、原案通り可決確定致しました。その後、新法人制度・定款諸規則検討臨時委員会）が立ち上がるとともに、辻・本郷税理士法人との間で定款の変更の案ならびに定款施行規則や役員選挙規則等の検討を行っているところです。

公益認定を受けるには、公益認定法第5条に18項目にわたって規定されている基準を満たさなければいけません。ほとんどの基準に関しては何の問題もなくクリアできると思われませんが、現行の評議員制度を新制度に適合するような代議員制度に変更するには、参事や評議員をはじめ地区の学校歯科医会の協力がなければ絶対に不可能です。代議員制度がだめなら、全会員による社員総会方式となりますが、構成員が二千名を超える団体において、はたして実際に可能なかとても不安な点が多々あります。

理事就任からあつというまの1年でしたが、これからも一所懸命新法人制度改革に取り組んでまいります。

## 理事 ● 高橋 文夫

月日が経つのは早いもので都学歯理事を拝命してから1年が経過しました。右も左もわからないまま就任し、何とか今日まで職務を遂行してこられたのも会長、副会長はじめ理事の先生方そして事務局の皆様のおかげと感謝しております。しかしながら、3月11日に発生いたしました東日本大震災では大変多くの方々や子どもたちが被災されました。ここに被災されました皆様と関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。学校歯科医の一人として被災地の子どもたちが一日でも早く笑顔を取り戻せるよう願っております。

さて、本題に入りますが、この一年事業担当理事として「図画・ポスターコンクール」「優良校表彰」「歯の作文」等の審査、また、会場設定として「学校保健（学校歯科医）研修会」「学校歯科医基礎研修会」「東京都学校歯科保健研究大会」等の事前打ち合わせなどを行ってきました。それもこれも私には未知の世界で、先輩理事の先生方と事務局の方々に助けられ歩んできた一年でした。

今年もすでに事業が動き出しておりますが、昨年を思い出しながら頑張っていこうと思っております。会員の先生方のご理解、ご協力をお願いいたします。

## 理事 ● 東川 輝子

川本会長の大きな流れに乗った怒涛の様な1年でした。平成22年4月に初めましての挨拶のあと、嵐は始まりました。7月の都健康づくりフォーラムの発表担当になってしまったのです。よく分からないまま6月の抄録締め切りが迫り、原稿づくりにおろおろ、頼りは4月に初めてお会いした鈴木博専務だけ。幸いなことに発表内容が、たまたま都学歯の学術研究委員会で作った外傷関連の冊子を利用でき、面倒見の良い(?)専務のおかげで何とか事なきを得た。その後もブロック別研修会の発表原稿作り、学術研究委員会での冊子作り、学校歯科医研修会等々次々に押し寄せてくる難題に学術理事さん達と一緒に悪戦苦闘。

新しい執行部なのだから皆さん大変なのは当たり前なのでしょう、でも、周りの見えてない新米理事には辛かった。実は今も大して状況が見えてないというのが悲しい。

そして1年が過ぎ、児童生徒にとって会員にとって川本執行部にとってほんの少しでも何か役立つことができたのでしょうか。何とか無事にと願うばかりです。

## 理事 ● 長井 博昭

会、組織、団体、法人にはそれぞれ運営していく上での様々な苦労があるものだと痛感いたしました。公益法人制度が変わり、どの社団も今後のことを真剣に考えなくてはならないこ

の時期ですから、特に感じたのかも知れません。また、何と言っても歴史のある東京都学校歯科医会の活動に関わらせていただいたことも大きな要因だと思います。会員の皆様からいただく会費を使って、学校歯科保健活動を通じて社会に貢献し、さらには会員の皆様に、会員となっていることの意義に見合う何かを還元していくという、大きな使命を果たす難しさを感じました。これまで東京都学校歯科医会の活動に参加することがほとんどなかった私が、理事という役目を頂戴してお手伝いさせていただいていること自体、未だに不思議です。川本会長はじめ先輩の役員の方には大変お世話になっており、余分なご負担をおかけしていることと思っております。ここまで甘えさせていただいたついでに、この先も先輩方のご指導ご鞭撻をいただきながら、会員の皆様へこれまでとは一味変わった還元ができればと思っておりますので、今後とも何卒宜しくお願いいたします。

### 理事 ● 澤田 章司

学術担当理事を拝命して一年を経過しましたが、新米理事として右も左も分からずあっという間に過ぎてしまいました。学術が担当する事業は数多く、次から次へとこなしていくといった感じで、さらに新法人への移行に伴う組織の在り方や定款作成など、通常なら理事会で議題には上がることのないような諸問題を協議してきたという特別な一年でもあったように思われます。

また、年度末の3月11日には東日本大震災が発生し多くの犠牲者を出しました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに早期の復興を願って已みません。今回の震災で日本国が危機的な状況に陥ったことで、個人的ではありますが都学歯理事を背中に背負って、甚大な被害があった宮城県南三陸町を訪れボランティアをしてきました。復興支援は長期に渡ることが予想され、今後も現地を訪れ活動して行きたいと胸に誓いました。

さて、任期の折り返し地点で、これからの一年は学術事業としても集大成の年になろうかと思っております。この一年で培ったことを大いに発揮して臨みたいと考えています。会員の先生方にはこれまで以上のご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。

### 理事 ● 牧野 寛

2010年4月…少ない経験と足りない知恵を何とか駆使し、精一杯努力させていただき所存でございます。よろしく願い申し上げます。…昨年の就任時の決意から、この一年間を振り返りますと、東京都学校歯科医会の運営ハウツー（事業計画、予算、運営、執行、等）を勉強させていただきということに徹した年ではなかったかと思っております。

また、会員の皆様もご承知のとおり、本会は公益法人化を目指す方向に方針が固まりました。執行部に在する責任の重大さを痛感し、自分なりに勉強させていただきました。しかしながら、まだまだ十分な知識を得られてはいないのではないか、不安に感じております。

また、学術事業におきましては、引継ぎ、通年継続事業の消化等、受動的な業務内容に追われ、まさに様子見の一年間でした。本年度におきましては、「学術事業の好ましいあり方、会員の先生方に求められる事業、公益性のある学術事業とは」など発案と実行がともなっていくように努力させていただきたく存じます。

一年を経過して、少ない経験と足りない知恵は、変化が見られているのか自身では判断不能でございます。就任時の決意を今一度思い起こし、悔いの無い一年にしていきたいと考えます。会員の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### 理事 ● 末高 英世

都学歯の広報担当理事になり、一年がたちました。理事の仕事はどのようなものか分からず前広報担当で現総務理事の渡邊先生にご指導いただき、会員の先生方や学校現場の人々に都学歯の現状を発信できたらと考えております。広報は今後、特に会員の先生だけでなく、児童・生徒のために学校関係の方々や都民の皆様に広くアピールして開かれた会を示す為に、よりHPを充実していかなければと思います。会員の先生方、川本会長はじめ執行部の先生方、会誌・広報委員の先生方、事務局の皆様、一世印刷の皆様、HPのレアコンテンツの方々、多くの皆様に感謝を申し上げます。

# 平成22年度江東七地区学校歯科医会役員連絡協議会

城東学校歯科医会 専務理事 梶山 晃

平成22年7月29日（木）19時より江東七地区学校歯科医会役員連絡協議会が開催されました。総勢で39名の出席でした。

まず、深川の四方田哲会長が開会を行い、七地区会長挨拶を城東の八ッ繁悟、来賓挨拶として東京都学校歯科医会の川本会長が行いました。続いて報告に移り、昨年度会計報告を城東の笠井宏紀理事が行い、協議に入りました。

今回は「健康診断時における養護教諭のかかわり方と記録者について」という内容で協議されました。事前に各地区にアンケート調査を行い、当日発表していただきました。

その後の懇親会は、葛飾区学校歯科医会の高橋文夫会長のご乾杯のご発声で始まり、懇親の中にも各地区の近況や活発な意見交換で盛り上がりました。最後に次期当番地区の足立区学校歯科医会の米澤聡会長によるご挨拶をもって、閉会となりました。

以下、アンケートの内容と結果についてご報告いたします。

- ① 健康診断の記録は、どなたがつけていますか？
- ② 健康診断結果のお知らせ文書は、どなたがいつ配布していますか？
- ③ 養護教諭とは別に記録者を配置していますか？

この内容を各地区にお尋ねした背景には、江東区の城東・深川学校歯科医会では、養護教諭会との連絡協議会を年1回開催していますが、その場で養護教諭会から歯科健康診断時における記録者を別途配置してほしいとの要望が毎年のように出されております。この要望を受けまして、江東区では現在、健康診断時の記録者を希望する学校に限り、配置できるようにしております。そのような要望が出される理由として養護教諭側からの説

明は、健康診断中にけがや発熱など、具合の悪い児童が保健室に来た場合、その対応がおろそかになるとの事でした。しかしながら養護教諭会の本心として推察されることは、歯科健康診断時の歯式の記録やその後の集計作業がとてつもない煩雑な為、特に多人数の生徒を抱える中学校養護教諭にとってはかなりの負担になっており、可能ならば他者に依頼したいという事です。私達学校歯科医は、早口で児童・生徒の口腔状況を読み上げれば、後の記録は養護教諭などが記載・集計し、又それを当然のように思いがちですが、歯科だけを担当する訳ではない養護教諭にとって全歯数の健康診断は、その職域の中でも相当な労力と時間を取られている事は想像に難くない事実です。このような背景から当番の城東学校歯科医会としては、学校歯科健康診断記録者の苦勞を、大多数の学校において養護教諭だけに負わせている事に問題提起する意味合いを含め、今回協議題として取り上げました。

しかしこれには幾つかの問題点も抱えていると思います。例えば、健康診断を受ける児童の記録者へのプライバシーの問題、また養護教諭やクラス担任が、児童・生徒の口腔内状況を把握する必要があるにもかかわらず、その機会が失われるのではないかと、などが挙げられます。

当地区としては今後さらに検討を重ね、養護教諭の健康診断時における負担を少しでも軽減しながらも、その役割と重要性を自身が再認識していただける様努力していく所存です。

## アンケートの結果と考察

①の記録については、他地区においても養護教諭以外の方もされているようでした。②の健康診断結果のお知らせ文書については、だいたい養護教諭が近日中に配布されているようでした。③の記録者配置については、ほぼ①の回答と同様でありましたが、養護教諭が全く記録をしない地区もありました。



## トピックス////

### 第1回参事会

平成23年5月19日（木）16時より歯科医師会館3階第一会議室において、本年度第1回目の参事会が行われた。

鈴木専務の司会のもと由井副会長が開会を宣言され、川本会長挨拶の後、田村都教育庁地域教育支援部歯科保健担当課長、山崎都歯副会長、河村都歯連盟副会長が来賓の挨拶をされた。

5月26日開催の第65回評議員会・総会についての説明、学校歯科保健優良校表彰および歯の作文募集についての協力要請、ブロック別研修会、各種大会・研修会の日程など、今年度の事業についての協力がなされ、その後、活発な質疑がなされた。最後に参事の先生方に総会に出席されない先生方の委任状の提出をお願いし、小嶋副会長が閉会した。



## トピックス////

### 第65回評議員会・総会

平成23年5月26日（木）16時30分より歯科医師会館3階第一会議室において評議員会が開催されました。鈴木専務理事の司会のもと由井副会長が開会を宣言されたのち、点呼により評議員62名、予備評議員3名で定数に達しました。

川本会長挨拶で先の東日本大震災に都学歯としても東京都にいる被災者の児童・生徒に何らかの形で協力していきたい述べた後、今評議員会で定款の変更が議案にありますので協力をお願いしたいと話されました。

次に来賓の大曾根正史東京都歯科医師連盟会長、東京都歯科医師会臨時代議員会の途中で駆けつけた浅野紀元東京都歯科医師会会長から挨拶があり、最後に中田郁平日本学校歯科医会会長が東日本大震災の様相を写真の画面を見ながら被災地の報告がありました。

議長・副議長の選出では議長に練馬の望月評議員、副議長に麻布赤坂の藤野評議員が選出されました、次に議事録署名人に板橋の神林評議員、調布の弘中評議員が選出されました。

会務報告を渡邊総務担当理事が行い、次に会計の長沼理事より会計現況報告され今年度は会員が16名増加されたとの報告がなされました。以上の報告承認事項について質疑がなされ、評議員の賛同を経て了承され、議事に移りました。

第1号議案 社団法人東京都学校歯科医会平成22年度事業報告

第2号議案 社団法人東京都学校歯科医会平成22年度収支決算並びに財産目録

第3号議案 社団法人東京都学校歯科医会平成23年度収支補正予算

第4号議案 公益社団法人への段階的移行

第5号議案 定款の変更

鈴木専務理事より第1号議案の説明がなされ、また長沼会計担当理事より、第2号議案が説明され、荒木



監事より監査報告がなされた後、予算決算委員会の松浦委員長が報告をされました。以上一括上程され2、3の質疑要望を経て、評議員の挙手多数により第1号議案および第2号議案が可決承認されました。

第3号議案の収支補正予算では長沼会計担当理事が今年度から事務職員を増加したいとの説明をされ挙手多数で可決承認されました。

第4号議案は鈴木専務理事より説明され、都学歯は最終的には公益社団法人を目指すのが現段階では2、3の問題点があり今回は非営利一般社団としたいとの説明の後活発な質疑を経て可決承認されました。

第5号議案も最終的に公益社団法人を目指すためにより厳しい定款にしたいと説明があり、これも活発な質疑を経て可決承認されました。

また3月31日に行われた第78回日本学校歯科医会総会を中村理事が報告されました。最後に小嶋副会長が閉会の辞を述べ終了致しました。

評議員会終了後、引き続き第65回総会が開催され、小嶋副会長が開会を宣言し、点呼に入り、委任状を含め1692名（会員数2034名）が参加し、評議員会で承認された第1号議案から第4号議案の承認事項が拍手によって賛同されました。

次に議事事項として、＜第1号議案 定款の変更＞が上程され、2、3の質問の後採決に入り可決され、由井副会長が閉会を述べ終了いたしました。

## 学校歯科医合同研修会

### 麻布赤坂・芝合同

平成23年2月25日19時より、赤坂区民センターにて麻布赤坂学校歯科医会・保育園医会・港区芝歯科医師会学校歯科医部会の合同研修会が開催された。講師には日本大学松戸歯学部教授の小林清吾先生をお招きして「フッ化物応用によるう蝕予防」の演題で御講演いただいた。近年、子どもたちのう蝕の数は確実に減少してきており、その最大の要因はフッ化物の利用にあるといわれている。フッ素とは自然にあるミネラル元素であり、食品にも多く含まれている。日本は先進国の中で子どもたちの歯磨き習慣はよく、砂糖摂取量は低い、しかしフッ化物利用は不十分である。学校や施



設でフッ化物洗口を行うことは、希望する人は誰でも、長期間継続できる効果的な実施方法である。しかし現在は、世界的にはフロリデーションである。60カ国約4億人に普及している。その効果と安全性は認められている。などの内容であった。最後に活発な質疑応答が行なわれ研修会は終了した。

## ● こんなことが「学校歯科医執務記録」になります ●

学校歯科医執務記録は学校保健法施行規則で「学校歯科医が職務に従事したときはその職務を学校歯科医執務記録簿に記入し校長に提出する」と定められています。

学校に出向いての執務はもちろんですが、

- ①校外施設での指導
- ②学校における学校保健に関する各種会合
- ③（教育委員会主催等）指定された研修会、講演会への参加
- ④（教育委員会主催等）指定された大会、学会等への参加
- ⑤養護教諭や学級担任からの相談（電話、メール等）
- ⑥診療所に来訪した児童・生徒の保健指導

なども執務とみなされます。

※①～④は「出勤」、⑤、⑥は「協力」になります。

なお、執務記録の「8. 学校行事に参加」には入学式、卒業式、周年事業、運動会、学芸会、PTA、学校保健委員会等も含まれます。

個別のケースについては、所管の教育委員会にお問い合わせください。

学校保健に関する歯科医師会などの理事会・委員会への参加そのものは「出勤」になります。来校して学校保健の内容を情報提供することが「出勤」になります。また、電話・ファクシミリ等で学校保健の内容を学校歯科医が直接に学校へ情報提供することは「協力」になります。執務記録に記載してください。

11ページの執務記録をコピーしてお使い下さい。



## 平成23年度 ブロック別学校歯科医研修会日程

	中央ブロック	江東ブロック	城西ブロック
日時	H23年9月15日(木) 18:00~20:30 集合 18:00~ 開会 18:30~	H23年10月13日(木) 18:00~20:30 集合 18:00~ 開会 18:30~	H23年11月17日(木) 18:00~20:30 集合 18:00~ 開会 18:30~
会場	・文京シビックホール (文京区春日1-16-21) ・TEL 5800-5500 ・最寄駅 ○春日駅 都営大江戸線・三田線 ○後楽園駅 丸の内線・南北線	・すみだ産業会館 (墨田区江東橋3-9-10) ・TEL 3635-4351 ・最寄駅 錦糸町駅 ○JR 総武線 ○半蔵門線	・中野区歯科医師会館 (中野区中野2-14-17) ・TEL 3382-1487 ・最寄駅 中野駅 ○JR 中央線・総武線 ○東西線
演題	「すぐに役立つ学校歯科医の活動マニュアル」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 吉澤 雄孝 理事 牧野 寛	「すぐに役立つ学校歯科医の活動マニュアル」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 中村 卓志 理事 澤田 章司	「すぐに役立つ学校歯科医の活動マニュアル」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 吉澤 雄孝 理事 長井 博昭
責任意者	・文京 松原 真 03-3821-2366	・本所 小貫 克 03-3624-2910	・中野 濱田 常二 03-3385-3060

## 平成23年度 各種大会・研修会日程

- 平成23年度健康づくりフォーラム 平成23年7月28日(木) 都庁
- 第62回 関東甲信越静学校保健大会 } 平成23年8月18日(木) 神奈川県
- 第62回 " 歯科職域部会
- 第75回 全国学校歯科保健研究大会 平成23年10月20日(木)・21日(金)  
愛媛県松山市  
「愛媛県文化会館(ひめぎんホール)」
- 第61回 全国学校保健研究大会 平成23年10月27日(木)・10月28日(金)  
静岡県静岡市  
「静岡県コンベンションアーツセンター  
(グランシップ)」
- 第61回 全国学校歯科医協議会 ホテルセンチュリー静岡
- 平成23年度学校保健(学校歯科医)研修会 平成23年12月8日(木) 東京都教職員研修センター
- 学校歯科医基礎研修会 平成23年12月8日(木) 東京都教職員研修センター
- 第46回 東京都学校歯科保健研究大会 平成24年2月23日(木) なかのZERO 大ホール